

2026年度 十文字プラスワン学生プロジェクト選考結果一覧

No.	プロジェクト名称	代表者	構成員	担当教員	プロジェクト概要
1	食の未来創造プロジェクト	25NC022 政輝蒼依	21	倉若美咲樹 渡辺章夫 曾矢麻理子	<p>私たち食品開発学科は歴史が浅く、まだまだブランドがありません。このプロジェクトを通して少しでも多くの方の目に留まれば良いなと思い、SNSを活用した宣伝を行えばと考えて、このプロジェクトへ応募しました。</p> <p>また、現代社会における課題解決の提案を大学内で収めるのではなく、実践して発信していかなければ変化はありません。例えば介護施設へ訪問し、人生の先輩の知恵をお借りして悩める現代人へ解決策を提案したり、子どもならではの食わず嫌い解消など、学外との交流の機会をこのプロジェクトを通して作りたいと考えました。</p>
2	ゼロから奏でる!! 電子サックスによる健康づくり・地域交流プロジェクト	24NA015 大内紗月	1	飯田路佳	<p>本プロジェクトは、電子サックスを活用し、音楽を通じた健康づくりと地域交流を行う活動である。初心者である自分がゼロから電子サックスの練習に挑戦し、その過程や上達の様子を動画等で記録・発信することで、楽器や音楽に興味を持つ人を増やすことを目指す。</p> <p>また、本学で実施されているシニア健康教室において、地域の高齢者を対象とした音楽体験活動を行う。参加者には、おもちゃのサックスを使用して実際に音を出してもらい、皆で息を合わせながら音楽を楽しむ活動を取り入れる予定である。音楽活動を通して、呼吸や指先を使うことによる健康づくりや、交流による生きがいづくりにつなげたいと考えている。</p> <p>さらに、本活動を通して、本学が学生の主体的な挑戦を支援していることを広く発信し、「信頼がわたしたちを強くする」という大学の理念のように、学生と地域がつながる活動を目指したい。</p>
3	“おいしい”を科学する！食育サイエンスワークショッププロジェクト	24NB069 町田さら	14	中岡加奈絵	<p>本プロジェクトでは、学生が主体となり、科学館等で子どもや親子を対象とした食育ワークショップを企画・運営する。ワークショップを企画する際は、「なぜこうなるのだろう？」を実際に見たり試したりすることで、食への興味につながるのではないかと考え、多くの体験ができる内容を目指す。また、参加者には小学校低学年の女子が多いことを踏まえ、「楽しい」「かわいい」「驚きがある」をキーワードに、子どもや親子が参加しやすいプログラムを検討する。単なる調理体験ではなく、食材の変化や特徴を“科学”として体験できることを特徴とし、「食べること」と科学とのつながりを楽しみながら学べる内容としたい。</p> <p>管理栄養士養成課程で学ぶ調理科学や食品学の知識を活かし、温度や時間による変化、材料の違いによる仕上がりの差などを、実験的に体験できるワークショップを継続的に実施していく予定である。</p>